

5:15 ナアマンはその一行の者すべてを連れて神の人のところに引き返して来て、彼の前に立って言った。「私は今、イスラエルのほか、全世界のどこにも神はおられないことを知りました。どうか今、あなたのしもべからの贈り物を受け取ってください。」

5:16 神の人は言った。「私が仕えている【主】は生きておられます。私は決して受け取りません。」ナアマンは、受け取らせようとしてしきりに勧めたが、神の人は断った。

5:17 そこでナアマンは言った。「それなら、どうか二頭のらばに載せるだけの土をしもべに与えてください。しもべはこれからはもう、【主】以外のほかの神々に全焼のささげ物やいけにえを献げません。」

5:18 どうか、【主】が次のことについてしもべをお赦しくくださいますように。私の主君がリンモンの神殿に入って、そこでひれ伏すために私の手を頼みにします。それで私もリンモンの神殿でひれ伏します。私がリンモンの神殿でひれ伏すとき、どうか、【主】がこのことについてしもべをお赦しくくださいますように。」

5:19 エリシャは彼に言った。「安心して行きなさい。」そこでナアマンは彼から離れ、かなりの道のりを進んで行った。

5:20 そのとき、神の人エリシャに仕える若者ゲハジはこう考えた。「何としたことか。私の主人は、あのアラム人ナアマンが持って来た物を受け取ろうとはしなかった。【主】は生きておられる。私は彼の後を追いかけて、絶対に何かをもらって来よう。」

5:21 ゲハジはナアマンの後を追いかけて行っ

た。ナアマンは、うしろから駆けて来る者を見つけると、戦車から降りて彼を迎え、「何か変わったことでも」と尋ねた。

5:22 そこで、ゲハジは言った。「変わったことはありませんが、私の主人は私を送り出してこう言っています。『たった今、エフライムの山地から、預言者の仲間の二人の若者が私のところにやって来たので、どうか、銀一タラントと晴れ着二着を彼らに与えてやってください。』」

5:23 するとナアマンは、「ぜひ、ニタラントを取ってください」と言ってしきりに勧め、二つの袋に入れた銀ニタラントと、晴れ着二着を自分の二人の若者に渡した。そこで彼らはそれを背負ってゲハジの先に立って進んだ。

5:24 ゲハジは丘に着くと、それを二人の者から受け取って家の中にしまい込み、彼らを帰らせたので、彼らは去って行った。

5:25 彼が家に入って主人の前に立つと、エリシャは彼に言った。「ゲハジ。おまえはどこへ行って来たのか。」彼は答えた。

「しもべはどこへも行っていない。」
5:26 エリシャは彼に言った。「あの人がおまえを迎えに戦車から降りたとき、私の心はおまえと一緒に歩んでいたではないか。今は金を受け、衣服を受け、オリーブ油やぶどう畑、羊や牛、男女の奴隷を受ける時だろうか。」

5:27 ナアマンのツアラアトは、いつまでもおまえとおまえの子孫にまといつく。」ゲハジはツアラアトに冒され、雪のようになって、エリシャの前から去って行った。

ナアマンが土を求めたのは、イスラエルの神

「主に」礼拝する祭壇を築くためでした。彼のうちに主が働きすばらしいみわざが起こされたのです。エリシャは主のわざと知っていましたので、それで自分に贈り物をもたらすことを断りました。主の働き人は一般に、働きの報酬として生活が保証されるのであって、奇跡のみわざの代金によるのではないのです。

また「今は…受ける時だろうか。」とあるので、偽預言者との区別のため、また主に純粹に栄子をお返しするために、エリシャはゲハジに贈り物の受け取りを禁じたと思われる。主のみわざを自分の損得につなげていないか、吟味しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

